

今津中学校にて認知症サポーター養成講座を開催します！

今津中学校2年生の生徒（35名）を対象とした認知症サポーター養成講座を開催します。

今回は、学校公開日に開催し、生徒の保護者や地域の方にも認知症について学んでいただきます。

講座は、講話だけではなく寸劇（25分程度）も行います。また、劇の出演者として地元の「いきいき今津まちづくり協議会」の方々等もご参加いただける予定です。

日時 : 平成30年7月8日（日）午後1時30分

場所 : 中津市大字植野1889番地2

中津市立今津中学校 マルチスペース

1. 今回の講座内容

- ・今津中学校における学校公開日に実施します
- ・対象は中学校2年生 35名
- ・午後1時30分から50分程度
 - ①講話（15分） 認知症についての説明等
（講師：認知症地域支援推進員、キャラバンメイト 計3名程度）
 - ②寸劇（25分） 演題 ～私の大好きなおばあちゃん 認知症って何？～
 - ③まとめ（10分）
- ・寸劇は、地元「いきいき今津まちづくり協議会」の方々にもご協力いただきます。

2. 認知症サポーター養成講座とは

認知症サポーター養成講座とは、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人やその家族に対してできる範囲での手助けをする人（認知症サポーター）を養成する講座です。

超高齢社会により認知症高齢者数は年々増加し、平成37（2025）年には高齢者5人に1人が認知症になると推測されています。本市では、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指して、認知症高齢者の支援体制の充実を図っており、本事業はその一つです。

第5次中津市総合計画（なかつ安心・元気・未来プラン2017）では、平成38（2026）年度までに1万人を養成することを目標値として掲げ、本年3月末現在で6,175人が講座を受講しています。

※国の認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）では、2020（平成32）年度末までに全国で認知症サポーターを1200万人養成することを目標としています。

3. 小・中学校向け認知症サポーター養成講座の実施により期待される効果

- ① 認知症の方と接するときの、温かい目での見守りやちょっとした手助けなど、世代を超えて相手を思いやるところが養えます。
- ② 超高齢社会の担い手である子どもたちが、高齢者や認知症を理解することは、今後の社会生活に有益となります。
- ③ 子どもたちが認知症を学ぶことで、保護者や地域の方への認知症の普及啓発に繋がります。

4. 本取組みの目標

- ・ 1回の学習で終わるのではなく、段階的に認知症について学ぶ場を持つ。
- ・ 中津市内全小中学校での「認知症サポーター養成講座」の実施を拡げていきたい。

【問合先】

介護長寿課 担当：村上・川谷

(TEL：0979-22-1111・内線 736)